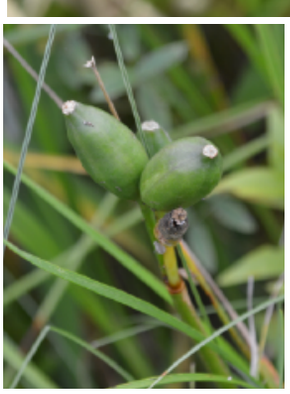
2020年９月号　　９月15日（火）発行
釧路湿原国立公園　　温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 288



急加速？夏から秋へ…

マユミの木の陰から「ジャッ、ジャッ…」という濁った声。様子を見ていると、出てきたのはウグイスでした。夏に美声を響かせてくれていた彼らも、もはや囀ることはなく、順調に子育てを終えて南へ旅立つ頃合いです。
一方、急に涼しくなった湿原は花の季節から実りの季節へと移り、こちらも夏とは全く違った顔つきに変わりつつあります。

☆☆☆温根内ビジターセンター周辺の自然情報☆☆☆

～温根内ビジターセンター周辺の自然～

【コガネギク】
キク科　黄金菊
湿原の秋を感じる花のひとつです。もの悲しくなったミズゴケ湿原を点々と彩ります。別名ミヤマアキノキリンソウ。

【ウメバチソウ】
ニシキギ科　梅鉢草
この時期の自然情報で欠かせないのが本種。木道のすぐそばで咲いていることもあるので、ぜひ花の構造を観察してみてください。

【エゾリンドウ】
リンドウ科　蝦夷竜胆
エゾシカの食害によって数が減ってきていると考えられる本種。その食害を免れたものが限られた場所で花をつけています。

【ミツバベンケイソウ】
ﾍﾞﾝｹｲｿｳ科　三葉弁慶草
ハンノキの株などから生長し、クリーム色の花を咲かせています。近くで見ると、小さな花が集まっているのがわかります。

【ツリフネソウ（実）】
ツリフネソウ科　釣舟草
花の時期が終わり、長さ1cm ほどのひょうたん型の実をつけています。膨らんだ実を指でつまむと、弾けて種子が飛び出します。

【ハネナガキリギリス】
キリギリス科
秋になると木道に出てきて、このように木道の隙間に産卵するメスが見られます。誤って踏みつけないよう、気をつけてください。

○表紙の写真 上：ウグイス　中右：ヌメリスギタケモドキ　中左：ホソバアカバナの実　下：カキツバタの実

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

秋の空気に変わった釧路湿原では、野鳥の渡りのシーズンが始まり、夏鳥の姿も日に日に見られなくなりました。それに代わって、夏には見られなかった野鳥が現れることがあります。野鳥情報は気軽にスタッフにお尋ねください。

【コヨシキリ】　夏鳥
ヨシキリ科　小葦切
ヨシの隙間からわずかに顔をのぞかせました。口に虫を咥えており、我が子に餌を持って行こうとしていた途中だったようです。

【ノビタキ】　夏鳥
ヒタキ科　野鶲
オスが冬羽に換羽しており、夏の繁殖期とはかなり見た目が違います。今年も長らく湿原をにぎわせてくれました。

【アオジ（幼鳥）】　夏鳥
ホオジロ科　青鶸
鶴居軌道沿いの林の中などから時折姿を見せます。今の時期見られるアオジはほとんどが幼鳥で、例年 10 月頃まで確認できます。

【エナガ】　留鳥
エナガ科　柄長
真っ白でフワフワした頭が愛らしく、人気絶頂の野鳥です。群れで移動しており、夏鳥に代わり確認する機会が増えてきました。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（８月 15 日～９月 14 日）※和名は五十音順　＊外来種

■アキノウナギツカミ■アメリカセンダングサ＊■イチゲフウロ■イヌタデ■イヌトウバナ■イヌホオズキ■イワアカバナ■ウシハコベ■ウツボグサ■ウド■ウメバチソウ■エゾイチゴ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾゴマナ■エゾシロネ■エゾトリカブト■エゾナミキ■エゾノキツネアザミ■エゾノコギリソウ■エゾノミツモトソウ＊■エゾノヨロイグサ■エゾヤマアザミ■エゾリンドウ■オオアワガエリ＊■オオアワダチソウ＊■オオダイコンソウ■オオバコ■オオバセンキュウ■オオバタネツケバナ■オオバノヤエムグラ■オオヨモギ■オトギリソウ■カタバミ■カラハナソウ■カラフトノダイオウ■キオン■キツネノボタン■キツリフネ■キンミズヒキ■クサフジ■クサレダマ■クルマバナ■コウゾリナ■コガネギク■ゴキヅル■コメツブウマゴヤシ＊■コハコベ■サギスゲ（実）■サラシナショウマ■シオガマギク■シロザ■シロツメクサ＊■セイヨウタンポポ＊■セイヨウノコギリソウ＊■セリ■タカアザミ■タニソバ■タヌキモ■チシマオドリコソウ■チドリケマン■ツメクサ■ツリガネニンジン■ツリフネソウ■トウヌマゼリ■ドクゼリ■トモエソウ■ナガボノシロワレモコウ■ナギナタコウジュ■ナズナ■ネジバナ■ノハラムラサキ＊■ハッカ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン＊■ヒヨドリバナ■ヘラバヒメジョオン＊■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバノヨツバムグラ■マツヨイセンノウ＊■ミカヅキグサ■ミズ■ミズオトギリ■ミソガワソウ■ミゾソバ■ミツバフウロ■ミツバベンケイソウ■ミツモトソウ■ミミコウモリ■ミミナグサ■ムラサキツメクサ＊■メマツヨイグサ＊■ヤネタビラコ＊■ヤブジラミ■ヤブマメ■ヤマハギ■ヤマハハコ■ヨシ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（８月 15 日～９月 14 日）和名は日本鳥類目録第７版の順

■キジバト■アオバト■アオサギ■タンチョウ■クイナ■トビ■オジロワシ■ノスリ■フクロウ■コゲラ■コアカゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■ハヤブサ■モズ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■メジロ■シマセンニュウ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■アカハラ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ビンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■イカル■アオジ■オオジュリン

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆　自然ふれあい行事が開催されました　☆☆☆☆

◎「秋の植物を見に行こう」９月６日　参加者：９名　講師：藤原伸也

秋を迎えた釧路湿原を散策し、花の時期を終えつつある植物たちの生態を探る観察会を行いました。まず鶴居軌道沿いの丘陵地側では、マムシグサ（コウライテンナンショウ）の実が何者かに食べられた跡があり、その犯人を皆で推測したり、ツリフネソウの実がはじけて種子を遠くへ飛ばす構造を体験を交えて学びました。次に湿原内へと入って行き、見頃を迎えたウメバチソウをじっくりと観察し、雄しべや子房の状態によって開花からどれくらい経過したか、

考えを巡らせました。また、サワギキョウの巧みな受粉の仕組みや、ミゾソバの根の部分にある閉鎖花による自家受粉について、それぞれの植物を間近で観察しながら理解を深めることができました。ミズゴケ湿原からの折り返しの道中では、産卵時期を迎えたハネナガキリギリスが木道上に出てきて、またとない昆虫との触れ合いの機会となりました。「秋」とはいいつつ、この日は汗ばむような天気ではありましたが、様々な生き物たちの生態を垣間見られた１日となりました。

☆☆☆　温根内ビジターセンター　アルバイトスタッフ日記①　☆☆☆

夏季期間中、ビジターセンターの業務を手伝ってもった大学生のお二人に、今号と次号でこの業務を通じて感じたことなどを綴ってもらいました！

はじめまして！教育大釧路校４年目の今野峻作といいます。５月からビジターセンターでアルバイトをしています。私はここでのアルバイトを始めて、どっぷりと植物の魅力にはまってしまいました。普段は趣味であるバイクにまたがり、旅先の野山や海岸沿いなどを散策しています。図鑑の中の植物に実際に出会った時の喜びと感動は言葉では表せないです。それぞれが生まれた環境の中で一生懸命に生き、花を咲かせ、種を付け枯れていく。そんな姿を見て、生きる意味について日々考えさせられています。自然は私たちに沢山の大切なことを教えてくれていると感じます。釧路湿原に生きる動植物たちが「今」を精一杯に生き、次の世代に命を繋いでいく姿は、私に勇気と元気を与え、自分も「自然の一部」であることを改めて教えてくれます。また、知らない、分からないことだらけの自然は無知の知を気づかせてくれ、自分のちっぽけさを実感させてくれます。

私は 10 月まで勤務しています。自然との対話のなかでたくさんの発見をし、さらに学びを深めていきたいと思います。見かけたらお声を掛けて頂けると嬉しいです。今後もよろしくお願いします。

☆☆☆☆イベントのご案内（10月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

新型コロナウィルスの感染状況により行事自体が中止になる可能性があります。事前に各施設へご確認ください。

○温根内ビジターセンター　⇒お申し込み☎ 0154-65-2323

♪ザリガニウォッチング２ ～ニホンザリガニ編～

〔日時〕10 月４日（日）10：00～12：00　〔定員〕 10 名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料　〔場所〕温根内ビジターセンター

釧路湿原に生息する絶滅危惧種ニホンザリガニの生態を知り、生息環境を観察します。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎ 015-487-3003

♪ムックリ（口琴）を作ろう

〔日時〕10 月 17 日（土）13：00～15：00〔定員〕10 名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕￥300（材料費）　〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

♪晩秋の湿原 野鳥観察会

〔日時〕10 月 24 日（土）10：00～12：00〔定員〕10 名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料　〔集合場所〕シラルトロ自然情報館 駐車場

～過去の温根内通信も！～

知ってましたか？本誌、月刊温根内通信は第 200 号（2013 年５月号）からのバックナンバーがネット上で見ることができます。過去の温根内の自然情報やビジターセンターの様子がわかります。『温根内通信』で検索してみてください！

月刊　温根内通信　№ 288
発行：釧路湿原国立公園　温根内ビジターセンター
〒 085-1145　北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel：0154-65-2323　Fax：0154-65-2185
E-mail：ovc@hokkai.or.jp
ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/
Facebook：温根内ビジターセンター　フェイスブック
開館時間：9:00～17:00（11 月～３月は 16:00 まで）
休館日：毎週火曜日（12/29～1/3 は休館）　入館無料